

長岡地域 理センBOX

第44回長岡地域児童生徒科学研究発表会

小学校の部には75研究84名、中学校の部には17研究31名が参加し、夏休みや一年を通して取り組んだ研究の成果を発表しました。そのうち34研究が優秀賞を受賞しました。

- 小学校の部（9月27）
さいわいプラザ・四郎丸小
- 中学校の部（9月28）
さいわいプラザ

	小学校							中学校				合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	物理化学A	物理化学B	物化生地	小計	
研究数	3	3	13	18	16	22	75	6	5	6	17	92
参加者数	3	3	14	18	17	29	84	11	11	9	31	115

	小学校	中学校	合計
学校数	25	5	30

教育長から激励の言葉

小学校の部の開会式では、高橋長岡市教育長が、神奈川県逗子市にある「理科ハウス（現在休館中）」の取組について触れ、科学の面白さ、追究することの大切さについて話されました。

中学校の部では、佐藤出雲崎町教育長が、イグ・ノーベル賞を受賞した長野県の医師、堀内朗氏の大腸内視鏡検査に関する研究から、物事を様々な角度から見る視点や発想の転換の大切さについて話されました。



発表会の様子

活気に満ちた各部会での発表

自信をもって堂々と発表する児童生徒の姿から、研究に対する熱い思いと、より多くの人に成果を伝えたいという発表に対する意気込みを感じました。

発表について質問や意見を活発に出し合う姿も多く見られました。今年度の研究は、生活の中で見つけた疑問をテーマにした研究、数年に渡って継続して行なった研究が多く見られました。



小学校部門の表彰式の様子

審査員よりアドバイス ～来年度の指導の参考に～

- 予想→実験→結果→考察の流れで示されていてよくまとめられている。
- 実験をした後に出た疑問点を解決するために追加実験を行っている。
- 研究の本質に迫る質問、次につながるヒントが多く出された。
- 日常生活から研究のきっかけを見いだしている。
- 手間隙をかけ、条件制御をしっかりと行い探究している。
- △要点を絞り、「読む発表」ではなく「話せる発表」になるとよい。
- △予想の根拠を示すことが大切である。
- △データの信頼性を高めるために、複数回の実験結果から平均値を出す。
- △インターネットの情報は、正しいかどうかを慎重に検討して利用する。
- △中学校の部に参加する学校数が増えていくとよい。

お知らせ

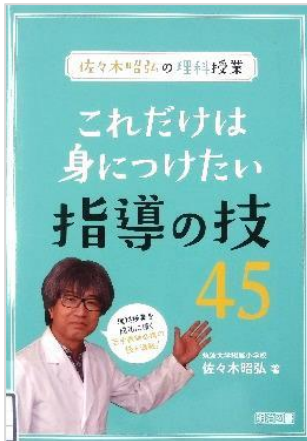
11月より、貸出教材・備品の貸出状況が理科教育センターのHPで確認できるようになりました。教材を借りる前に、チェックしてみてください。



新書紹介

新学習指導要領の実施に向けて、「資質・能力」の育成を目指した先行実践が多く掲載されています。

【小学校向け】



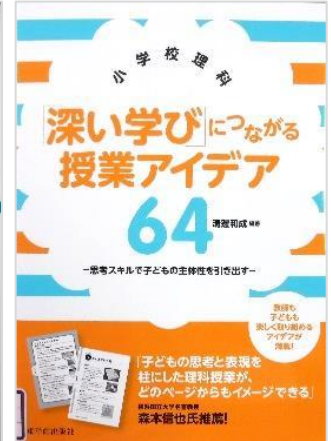
これだけは身につけたい
指導の技45
佐々木昭弘・明治図書



小学校教育課程実践講座
理科
日置光久・ぎょうせい



「資質・能力」を育成する
理科授業モデル
佐々木昭弘・学事出版



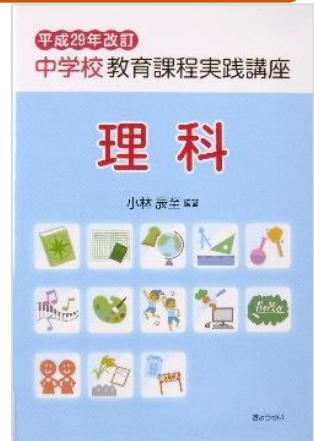
小学校理科「深い学び」につながる
授業アイデア64
溝邊和成・東洋館出版社

【中学校向け】

理論と実践を結び付ける実践が掲載されています。



中学校新学習指導要領の展開
理科編
後藤顕一他・明治図書



中学校教育課程実践講座
理科
小林辰至・ぎょうせい

【理科教育】

現在、求められている理科教育の姿が述べられている本です。



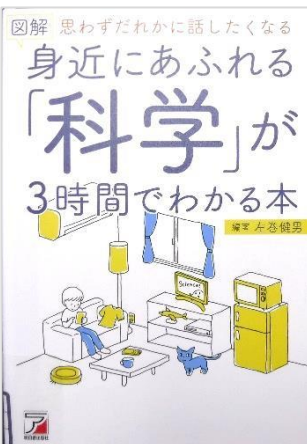
探究する資質・能力を育む
理科教育
小林辰至・大学教育出版



平成29年度版学習指導要領対応
理科教育入門書
松森康夫 森本信也・東洋館出版社

【理科一般】

日常生活に潜んでいる科学を分かりやすく解説されています。子どもの理科に対する関心を高めるヒントが満載です。



身近にあふれる「科学」が
3時間でわかる本
左巻健男・明日香出版社



身近にあふれる「生物」が
3時間でわかる本
左巻健男・明日香出版社



地球がもし100cmの
球だったら
永井智哉・世界文化社

